

IR資料

【2025年3月期 第1四半期決算補足説明資料】

矢作建設工業株式会社 証券コード1870（東証プライム・名証プレミア）

I

2025年3月期第1四半期決算

■ 売上高

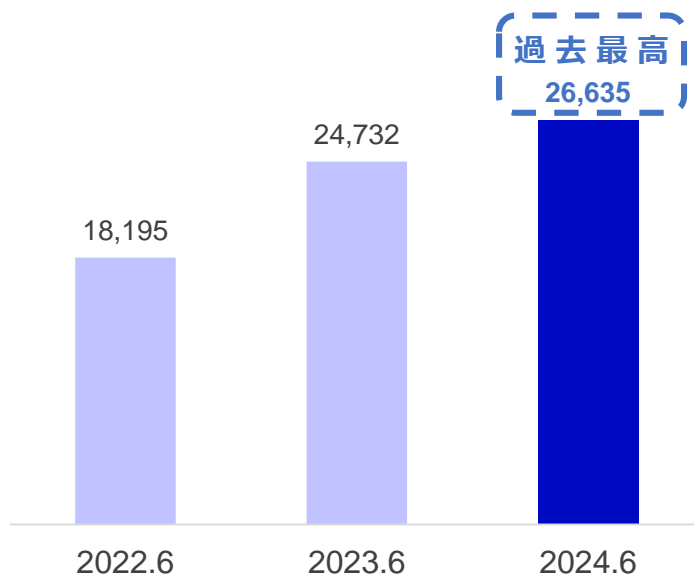
売上高は266億円と前期比19億円の増収となり、前年同期に引き続き過去最高を更新

■ 利益

売上総利益の増益に伴い、営業利益は7億円と前期比5億円の増益、四半期純利益は5億円と前期比3億円の増益

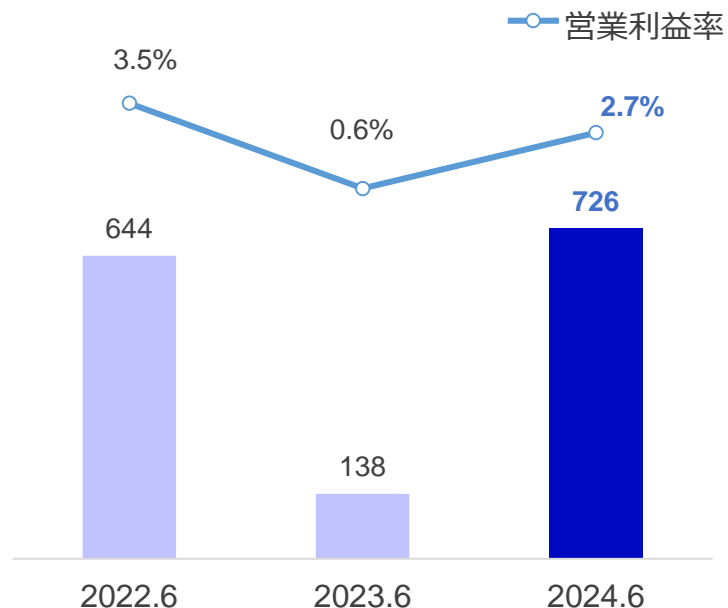
売上高 (百万円)

前期比**19**億円増 (7.7%増) ↗



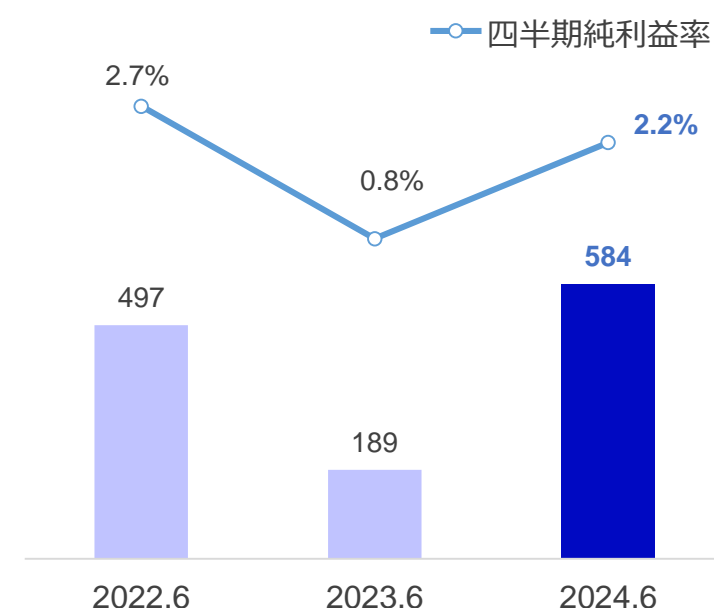
営業利益 (百万円)

前期比**5**億円増 (425.1%増) ↗



四半期純利益 (百万円)

前期比**3**億円増 (208.8%増) ↗



【ご参考】前期までの過去最高値：2024年3月期第1四半期 24,732百万円

2025年3月期第1四半期決算概要

(単位：百万円)

	2022.6 実績	2023.6 実績	2024.6 実績	前期比	
				増減額	増減率
売上高	18,195	24,732	26,635	1,903	7.7%
完成工事高	14,375	21,962	22,344	381	1.7%
不動産事業等売上高	3,819	2,769	4,291	1,521	54.9%
売上総利益	2,824	2,519	3,214	694	27.6%
(売上総利益率)	(15.5%)	(10.2%)	(12.1%)		1.9pt
完成工事総利益	1,546	1,602	1,616	13	0.9%
不動産事業等総利益	1,278	917	1,598	680	74.2%
販売費及び一般管理費	2,180	2,381	2,487	106	4.5%
営業利益	644	138	726	588	425.1%
(営業利益率)	(3.5%)	(0.6%)	(2.7%)		2.1pt
経常利益	680	195	777	582	298.1%
(経常利益率)	(3.7%)	(0.8%)	(2.9%)		2.1pt
親会社株主に帰属する 四半期純利益	497	189	584	394	208.8%
(四半期純利益率)	(2.7%)	(0.8%)	(2.2%)		1.4pt

売上高・営業利益増減要因（対前年同四半期実績）

■ 売上高・・・前期比19億円の増収となり、前年同期に引き続き過去最高を更新

- 建設事業：土木工事が増収となったことで、前期比3億円の増収
- 不動産事業：自社開発産業用地の不動産販売が寄与し、前期比15億円の増収

■ 利益・・・営業利益は前期比5億円の増益

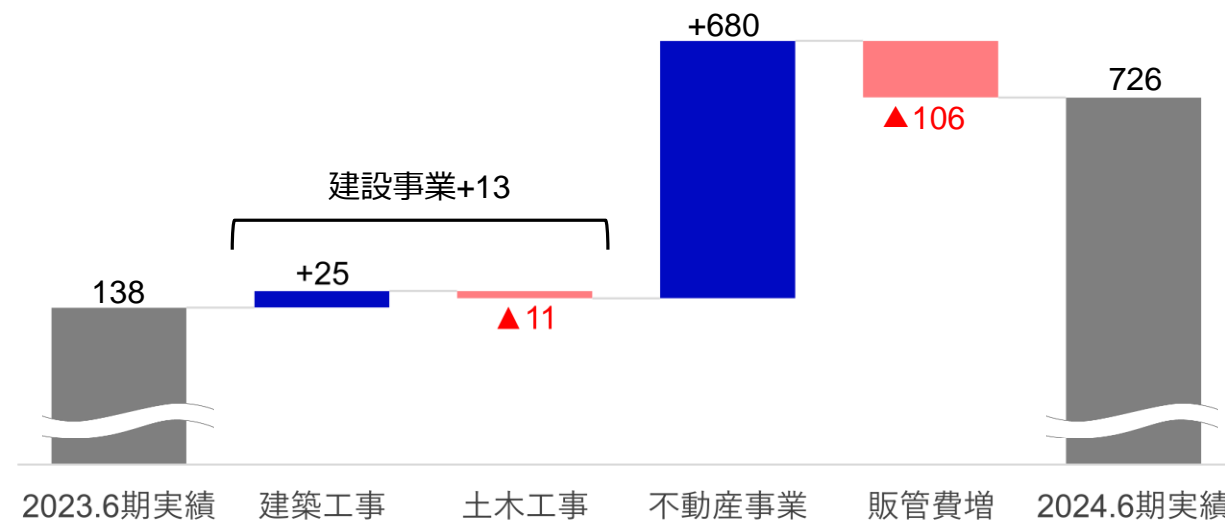
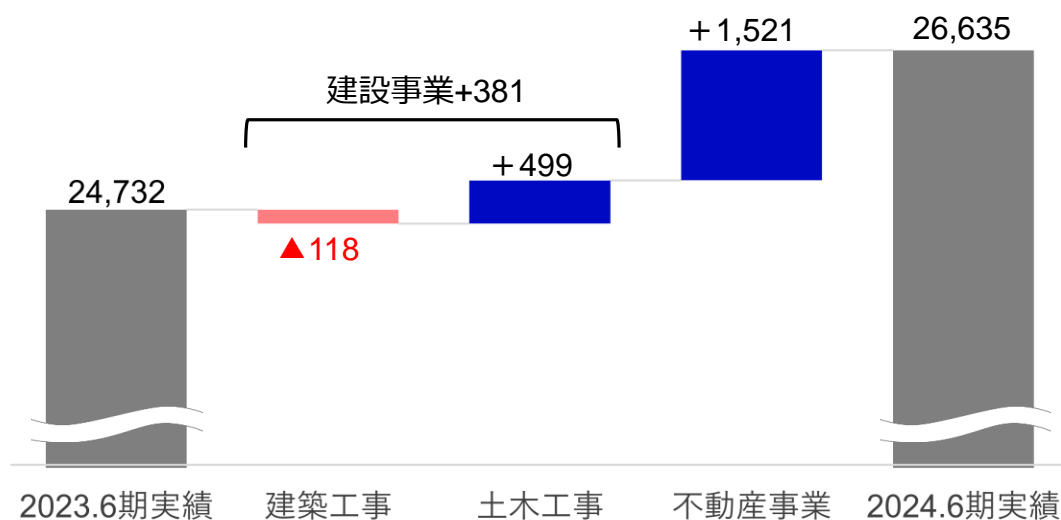
- 建設事業：建築工事、土木工事とも概ね前期並み
- 不動産事業：増収効果により、前期比6億円の増益
- 販管費：人財投資の増加、営業活動費や広告宣伝費の増加などもあり、前期比1億円の増加

売上高（百万円）

営業利益（百万円）

対前期**1,903**百万円増

対前期**588**百万円増



〈セグメント別概況〉 建築事業

■ 受注高

マンション工事、一般建築工事ともに受注が好調であったことにより、前期比96億円の大幅増加

■ 売上高

概ね前期並みの水準で推移

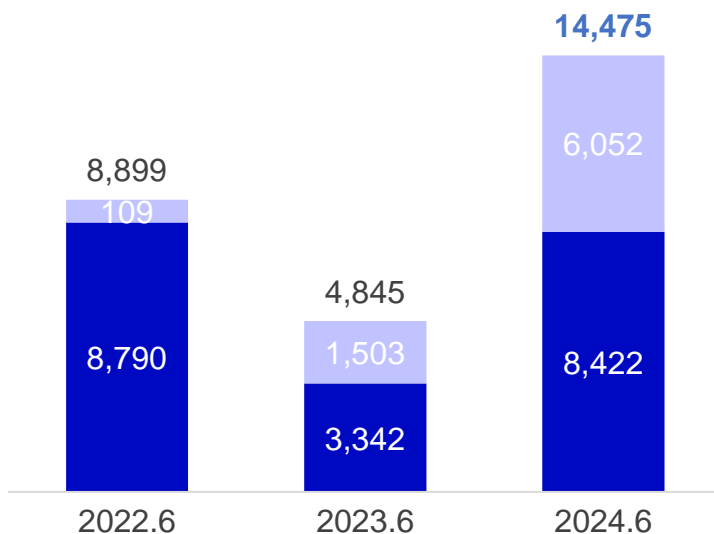
■ 売上総利益

売上高同様、概ね前期並み

用途別受注高 (百万円)

前期比**96億円増 (198.7%増)**

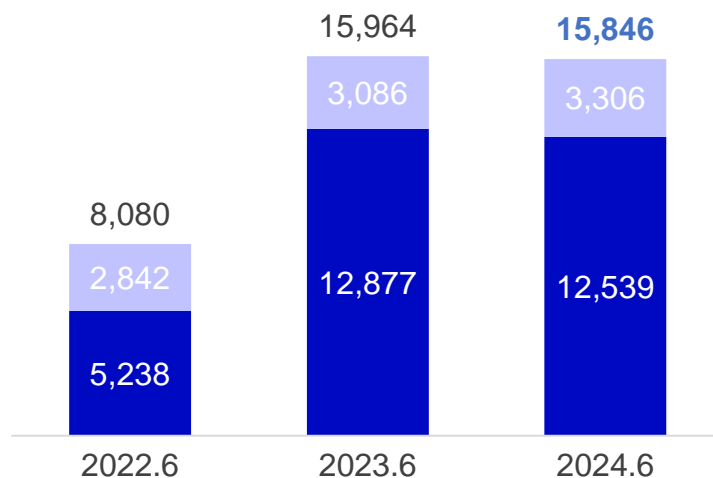
■ マンション工事 ■ 一般建築工事



用途別売上高 (百万円)

前期比**1億円減 (0.7%減)**

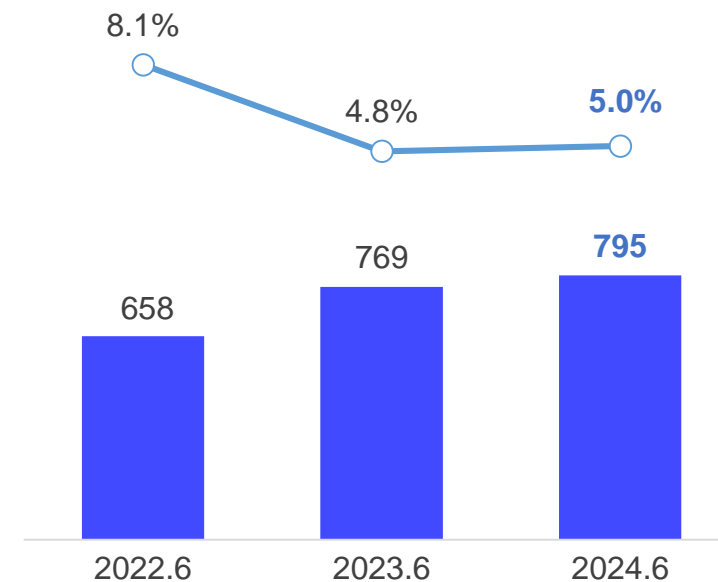
■ マンション工事 ■ 一般建築工事



売上総利益 (百万円)

前期比**0.2億円増 (3.3%増)**

○ 売上総利益率



〈セグメント別概況〉 土木事業

■ 受注高

官庁工事、民間工事ともに受注が好調であったことにより、前期比35億円の大幅増加

■ 売上高

官庁工事を中心に施工が順調に進捗したことにより、前期比4億円の増収

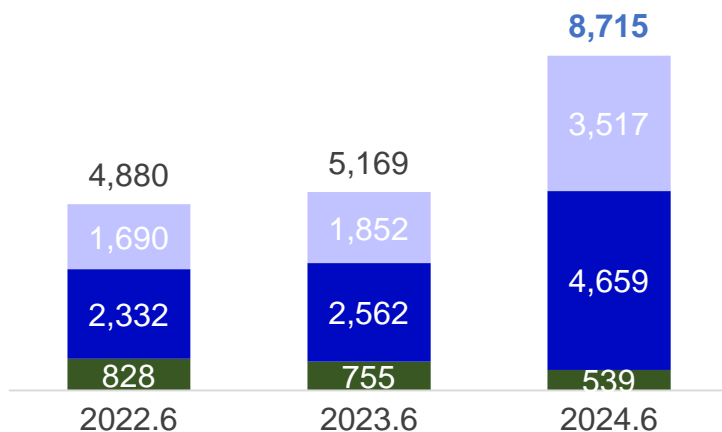
■ 売上総利益

概ね前期並み

用途別受注高 (百万円)

前期比**35億円増 (68.6%増)** ↗

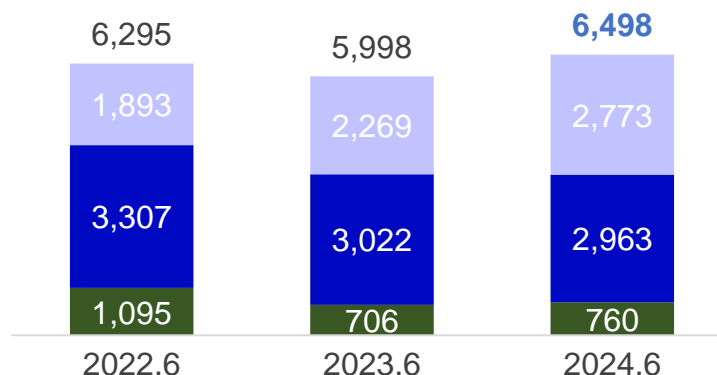
■ 官庁工事 ■ 民間工事 ■ PW工事



用途別売上高 (百万円)

前期比**4億円増 (8.3%増)** ↗

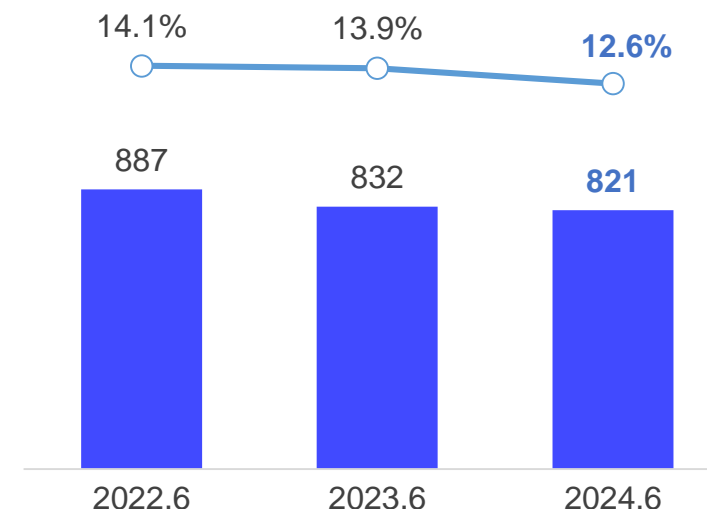
■ 官庁工事 ■ 民間工事 ■ PW工事



売上総利益 (百万円)

前期比**0.1億円減 (1.4%減)** ↘

○ 売上総利益率



※PW工事：当社独自技術である地山補強土工法の「パンウォール工法」による工事

〈セグメント別概況〉 不動産事業

■ 売上高

自社開発産業用地の不動産販売が寄与し、前期比15億円の増収

■ 売上総利益

利益率の高い自社開発産業用地の売却により、前期比6億円の増益

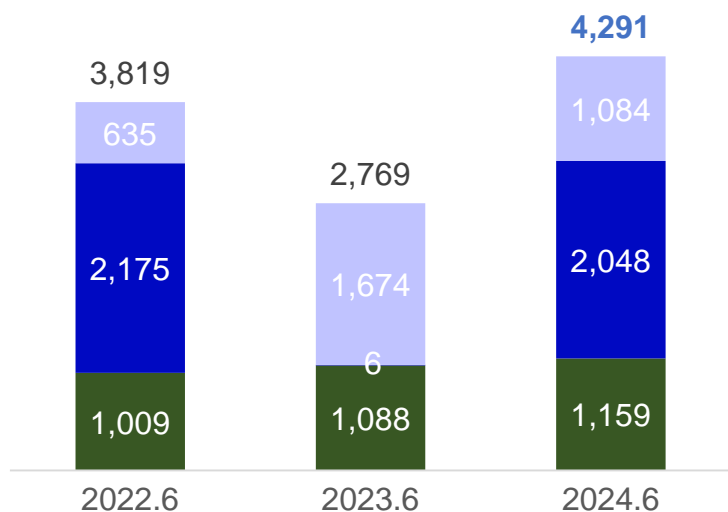
■ 分譲マンション事業

前期末からの繰越物件が減少したことにより、前期比13戸の減少

売上高内訳 (百万円)

前期比**15億円増 (54.9%増)**

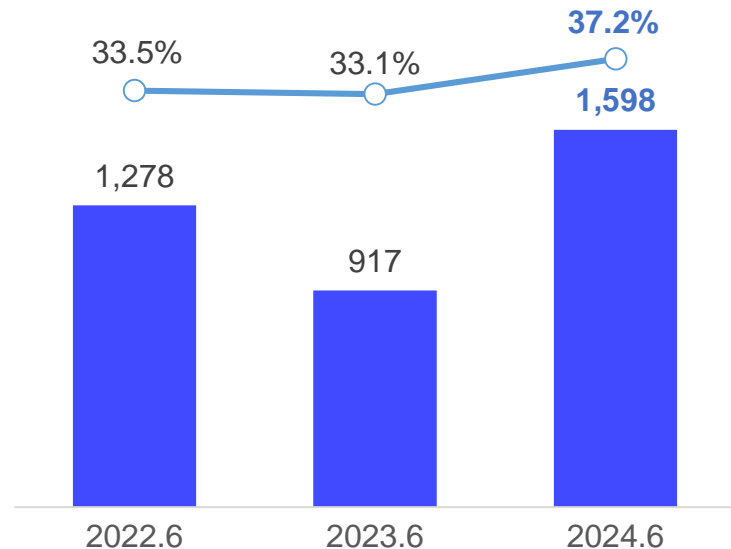
■ 分譲マンション事業 ■ 不動産販売 ■ その他



売上総利益 (百万円)

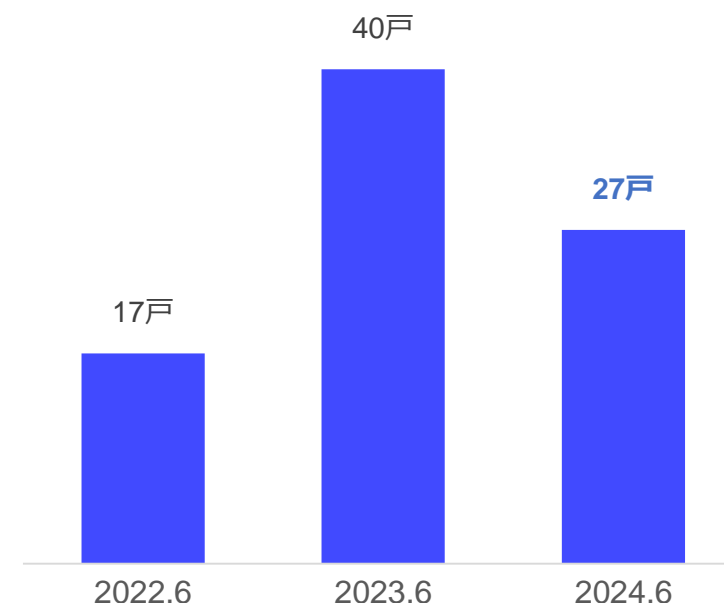
前期比**6億円増 (74.2%増)**

○ 売上総利益率



分譲マンション販売戸数 (戸)

前期比**13戸減 (32.5%減)**



※その他には、賃貸事業・流通事業・建築事業に含まれない子会社の事業等を含む。

- **総資産**：手元資金の保有水準の見直しにより現金預金が42億円減少したほか、工事代金の回収が進み売上債権が53億円減少したことなどにより、総資産は83億円の減少
- **負債**：大型建築工事の施工の進捗に伴い未成工事受入金が38億円減少したことに加え、法人税、消費税の支払などにより流動負債その他が55億円減少し、負債合計は76億円の減少
- **純資産**：利益剰余金の計上があった一方、前期未配当金の支払いにより、純資産は6億円の減少

□ 連結貸借対照表

(単位：百万円)

資産の部		2024.3 実績	2024.6 実績	増減
流動資産	現金預金	19,987	15,750	▲4,237
	売上債権	39,657	34,280	▲5,377
	未成工事支出金	3,251	5,462	2,210
	販売用不動産	21,016	20,332	▲684
	その他	3,997	3,837	▲159
	計	87,910	79,662	▲8,247
固定資産	有形固定資産	27,148	27,026	▲121
	無形固定資産	728	724	▲4
	投資その他の資産	10,213	10,258	44
	計	38,090	38,009	▲81

負債の部		2024.3 実績	2024.6 実績	増減
流動負債	仕入債務	11,112	9,725	▲1,387
	短期借入金	14,100	16,800	2,700
	未成工事受入金	8,853	5,047	▲3,805
	その他	9,642	4,081	▲5,560
	計	43,708	35,654	▲8,053
固定負債	長期借入金	8,300	8,600	300
	その他	7,453	7,508	56
	計	15,753	16,108	355
負債合計		59,461	51,763	▲7,698
純資産		66,538	65,908	▲630

資産合計	126,000	117,671	▲8,328
------	---------	---------	--------

負債・純資産合計	126,000	117,671	▲8,328
----------	---------	---------	--------

□主要経営指標

(単位：百万円)

	2021.3実績	2022.3実績	2023.3実績	2024.3実績	2023.6実績	2024.6実績
総資産経常利益率 (ROA)	6.3%	5.0%	5.9%	7.5%	—	—
自己資本当期純利益率 (ROE)	6.2%	8.6%	7.6%	10.2%	—	—
1株当たり当期純利益 (EPS)	75.86円	112.18円	104.83円	150.23円	—	—
自己資本比率	42.1%	49.4%	46.5%	52.8%	45.4%	56.0%
有利子負債	42,940	30,400	31,900	22,400	41,900	25,400
NET有利子負債 (※)	20,848	8,388	9,078	2,413	22,052	9,649

(※) NET有利子負債 = 有利子負債 - 現金預金

■ 受注高

建築工事、土木工事ともに受注が好調に推移したことで、前期比131億円の大幅増加となり第1四半期として過去最高を更新

■ 次期繰越高

受注高が大きく増加したことにより、前期比515億円の大幅増加となり、第1四半期として過去最高を更新

□ 受注高

(単位：百万円)

	2022.6 実績	2023.6 実績	2024.6 実績	前期比	
				増減額	増減率
建築工事	8,899	4,845	14,475	9,629	198.7%
土木工事	4,880	5,169	8,715	3,546	68.6%
合計	13,779	10,015	23,191	13,175	131.6%

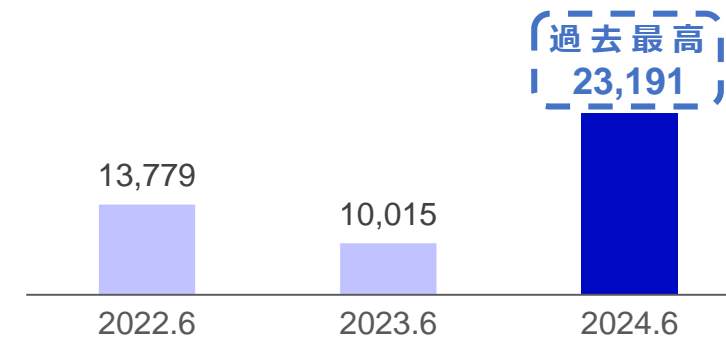
□ 次期繰越高

(単位：百万円)

	2022.6 実績	2023.6 実績	2024.6 実績	前期比	
				増減額	増減率
建築工事	62,883	55,511	101,801	46,289	83.4%
土木工事	26,848	31,983	37,223	5,239	16.4%
合計	89,731	87,495	139,024	51,528	58.9%

受注高 (百万円)

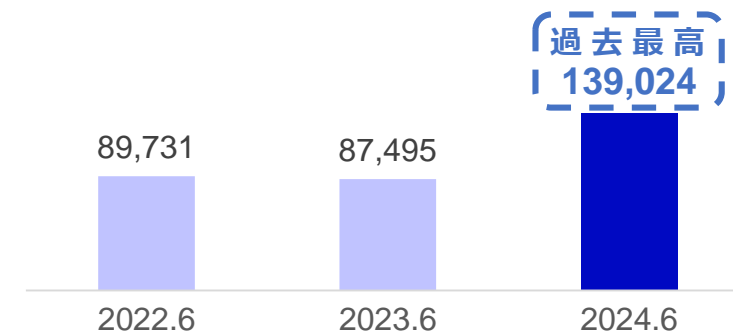
前期比**131**億円増 (131.6%増)



【ご参考】前期までの過去最高値
2020年3月期第1四半期 19,181百万円

次期繰越高 (百万円)

前期比**515**億円増 (58.9%増)



【ご参考】前期までの過去最高値
2023年3月期第1四半期 89,731百万円

Ⅱ

2025年3月期通期業績予想

2025年3月期の通期予想は、売上高1,400億円（前期比200億円増）【過去最高】、営業利益82億円（前期比13億円減）、当期純利益54億（前期比10億円減）の増収減益を見込む

■ 売上高

建設事業が増収となることにより、売上高全体では前期に引き続き、過去最高となる見込み

■ 利益

建設事業は増益となるものの、不動産事業の減益による影響が大きく、各利益段階において前期実績を下回る見込み

□ 2025年3月期連結予想

	2024.3 実績	2025.3 通期予想	前期比（通期）		2023.9 中間実績	2024.9 中間予想	前期比（中間）	
			増減額	増減率			増減額	増減率
売上高	119,824	140,000	20,175	16.8%	52,158	57,000	4,842	9.3%
完成工事高	96,230	119,000	22,770	23.7%	45,728	48,600	2,872	6.3%
不動産事業等売上高	23,594	21,000	▲2,594	▲11.0%	6,429	8,400	1,971	30.7%
売上総利益	19,797	18,900	▲897	▲4.5%	6,377	6,000	▲377	▲5.9%
(売上総利益率)	(16.5%)	(13.5%)		▲3.0pt	(12.2%)	(10.5%)		▲1.7pt
完成工事総利益	9,584	10,600	1,016	10.6%	4,558	3,400	▲1,158	▲25.4%
不動産事業等総利益	10,212	8,300	▲1,912	▲18.7%	1,819	2,600	781	42.9%
販売費及び一般管理費	10,282	10,700	418	4.1%	4,889	5,100	211	4.3%
営業利益	9,514	8,200	▲1,314	▲13.8%	1,487	900	▲587	▲39.5%
(営業利益率)	(7.9%)	(5.9%)		▲2.0pt	(2.9%)	(1.6%)		▲1.3pt
経常利益	9,588	8,200	▲1,388	▲14.5%	1,564	900	▲664	▲42.5%
(経常利益率)	(8.0%)	(5.9%)		▲2.1pt	(3.0%)	(1.6%)		▲1.4pt
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,462	5,400	▲1,062	▲16.4%	1,017	600	▲417	▲41.0%
(当期純利益率)	(5.4%)	(3.9%)		▲1.5pt	(2.0%)	(1.1%)		▲0.9pt

売上高・営業利益増減要因（対2024.3期実績）

■ 売上高

建設事業：前期に受注した過去最大規模の建築工事の施工が進捗することなどにより、前期実績を上回る見込み

不動産事業：当期においても大規模自社開発産業用地の売却を予定するものの、前期に売却した大府東海開発プロジェクト1号宅地の規模には及ばず、前期実績を下回る見込み

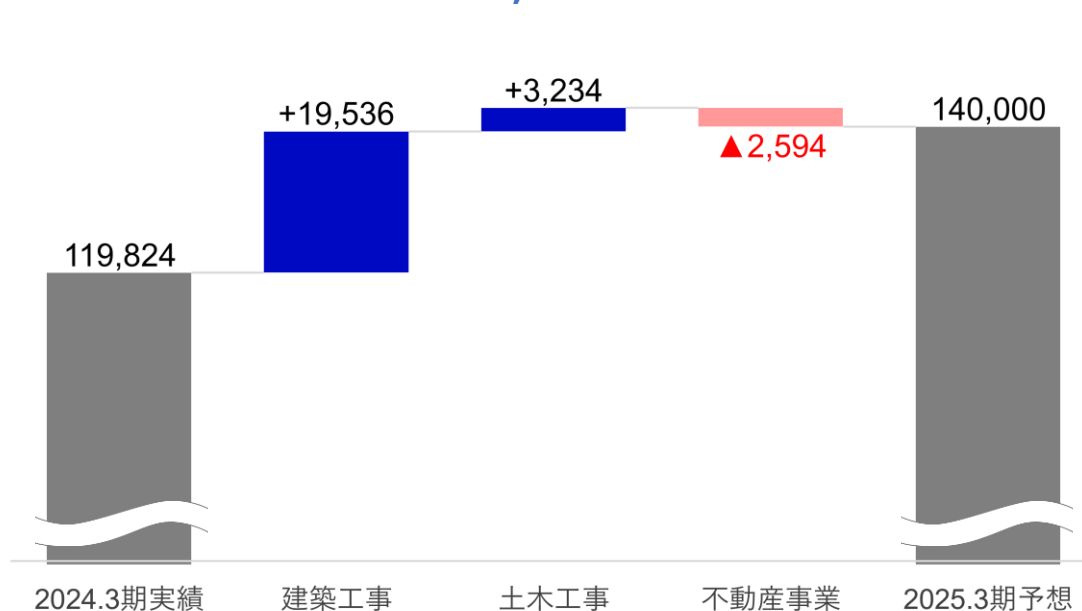
■ 利益

建設事業：増収効果により、前期実績を上回る見込み

不動産事業：減収の影響により、前期実績を下回る見込み

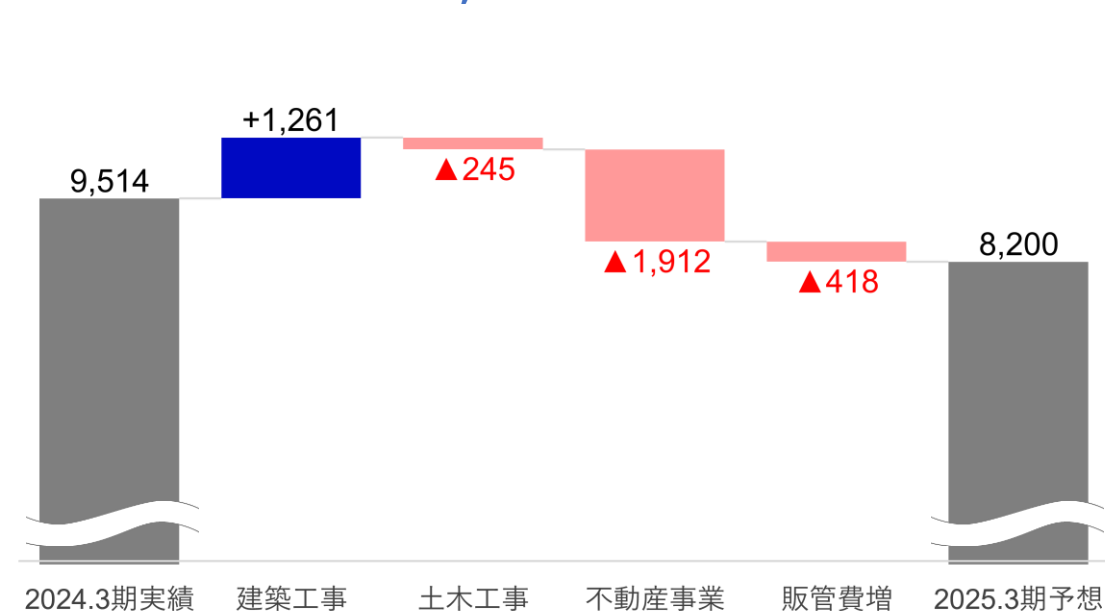
売上高（百万円）

対前期 **20,175**百万円増



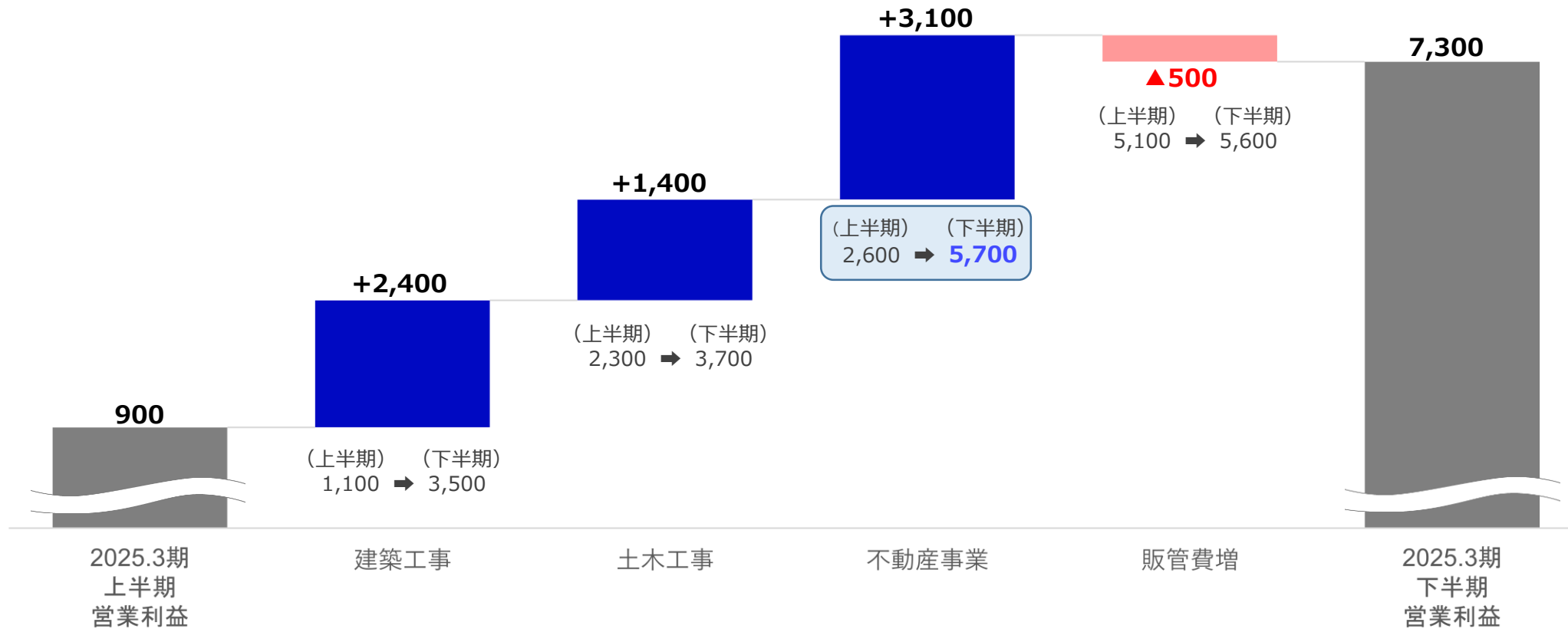
営業利益（百万円）

対前期 **1,314**百万円減



2025年3月期下半期の増益（対上半期）要因について

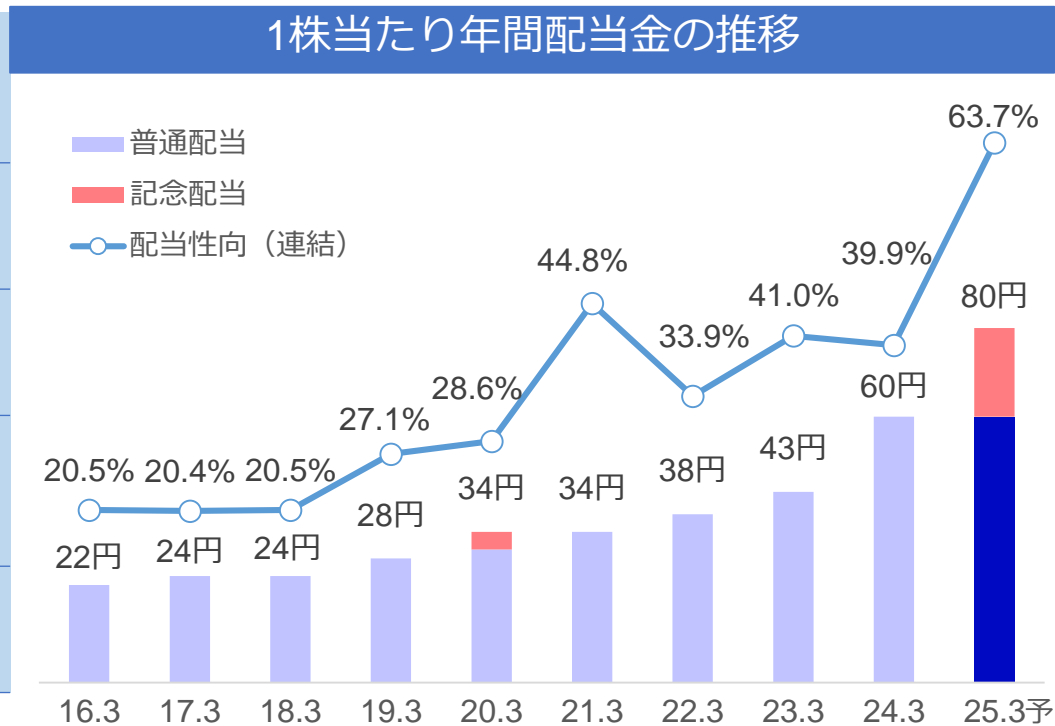
- 工事の施工の進捗に加え、下半期に大規模自社開発産業用地の売却を予定しているため、2025年3月期の営業利益は上半期9億円、下半期73億円と下半期に大きく伸長
- 通期の営業利益は82億円を見込む



- 2025年3月期は普通配当60円（2024年3月期年間配当金同額）に加え、創立75周年記念配当20円を実施し、年間配当金は80円とする予定
- 4期連続で増配（12期連続で減配なし）予定
- 配当性向は、中期経営計画の配当方針「30%以上」を上回る水準で推移

	2020.3	2021.3	2022.3	2023.3	2024.3	2025.3
中間配当金	16円	17円	17円	19円	30円	40円 (予想)
期末配当金	18円	17円	21円	24円	30円	40円 (予想)
年間配当金	(※1) 34円	34円	38円	43円	60円	(※2) 80円 (予想)
配当性向(連結)	28.6%	44.8%	33.9%	41.0%	39.9%	63.7% (予想)

(※1) 創立70周年記念配当4円を含む
 (※2) 創立75周年記念配当20円を含む



中期経営計画数値目標（2021年度～2025年度）

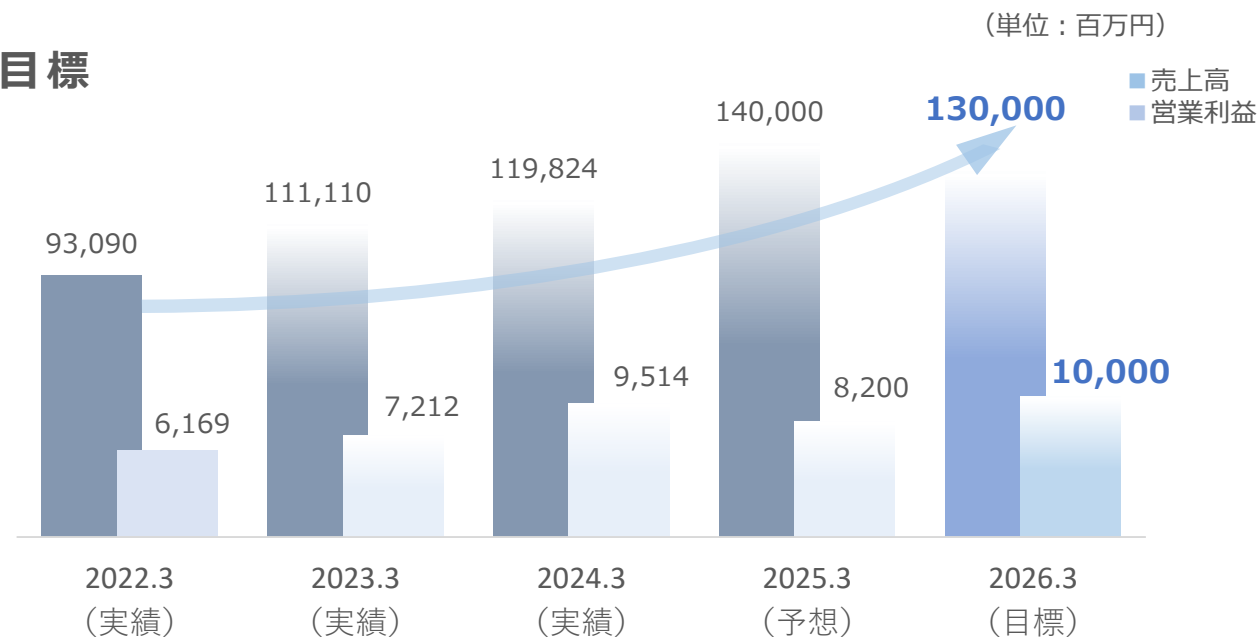
(単位：百万円)

	2022.3	2023.3	2024.3	2025.3予想	2026.3目標
売上高	93,090	111,110	119,824	140,000	130,000
営業利益	6,169	7,212	9,514	8,200	10,000

中期経営計画最終年度(2026.3)目標

□ 連結売上高 : 1,300億円

□ 連結営業利益 : 100億円



Ⅲ

参考情報

1.連結業績の推移（5年分）並びに計画

（単位：百万円）

	2020.6	2021.6	2022.6	2023.6	2024.6	2025.3計画
売上高	23,032	23,525	18,195	24,732	26,635	140,000
（対前期比増減率）	(31.0%)	(2.1%)	(▲22.7%)	(35.9%)	(7.7%)	(16.8%)
営業利益	2,027	840	644	138	726	8,200
（対前期比増減率）	(228.1%)	(▲58.6%)	(▲23.2%)	(▲78.5%)	(425.1%)	(▲13.8%)
経常利益	2,094	881	680	195	777	8,200
（対前期比増減率）	(206.6%)	(▲57.9%)	(▲22.9%)	(▲71.3%)	(298.1%)	(▲14.5%)
親会社株主に帰属 する四半期純利益	1,452	623	497	189	584	5,400
（対前期比増減率）	(220.5%)	(▲57.1%)	(▲20.2%)	(▲62.0%)	(208.8%)	(▲16.4%)

□ <ご参考>

連結初年度
過去最高値

1991年3月期

◎売上高

2025年3月期第1四半期 26,635百万円

【ご参考】前期までの過去最高値 2024年3月期第1四半期 24,732百万円

◎営業利益

2017年3月期第1四半期 2,829百万円

◎経常利益

2017年3月期第1四半期 2,878百万円

◎親会社株主に帰属する
四半期純利益

2017年3月期第1四半期 2,265百万円

2.連結子会社の状況（2024年6月30日現在）

名称	住所	資本金 (百万円)	決算期	事業内容	四半期の 業績 売上高 (百万円)
矢作地所(株)	名古屋市東区	800	3月	分譲マンション事業、不動産開発事業、不動産賃貸事業、不動産流通事業	1,589
矢作ビル&ライフ(株)	名古屋市東区	400	3月	マンション・ビル管理事業、建築事業	903
ヤハギ緑化(株)	名古屋市東区	100	3月	緑化事業、ゴルフ場コース管理事業	737
(株)テクノサポート	名古屋市東区	50	3月	パンウォール（補強土壁工法）事業、ピタコラム（外付耐震補強工法）事業、建設工事、技術開発、試験体製作	274
ヤハギ道路(株)	愛知県豊田市	300	3月	舗装事業、土木事業、アスファルト合材製造販売事業、リサイクル事業	1,351
南信高森開発(株)	長野県下伊那郡 高森町	50	3月	ゴルフ場経営（高森カントリークラブ）	125
北和建设(株)	京都市下京区	85	3月	建築事業	1,182
南知多未来 パートナーズ(株)	愛知県知多郡 南知多町	30	3月	師崎港観光センター周辺整備運営事業	9

- (注) 1. 矢作地所(株)、矢作ビル&ライフ(株)、ヤハギ緑化(株)、(株)テクノサポート、ヤハギ道路(株)、南信高森開発(株)、北和建设(株)の7社は、全て矢作建設工業(株)の100%子会社である
 (南信高森開発(株)については、間接所有分が69%である)
 2. 南知多未来パートナーズ(株)は、議決権の66.7%を間接所有する矢作建設工業(株)の子会社である

3.受注高、売上高、次期繰越高（連結）

(単位：百万円)

区分			受注高				売上高				次期繰越高			
			2023.6 実績	2024.6 実績	前期比		2023.6 実績	2024.6 実績	前期比		2023.6 実績	2024.6 実績	前期比	
			増減額	増減率	増減額	増減率	増減額	増減率	増減額	増減率	増減額	増減率		
工事	建築	官庁	-	-	-	-	-	241	241	-	28	1,390	1,362	-
		民間	4,845	14,475	9,629	198.7%	15,964	15,604	▲ 359	▲ 2.3%	55,483	100,410	44,927	81.0%
	計		4,845	14,475	9,629	198.7%	15,964	15,846	▲ 118	▲ 0.7%	55,511	101,801	46,289	83.4%
	土木	官庁	1,852	3,517	1,665	89.9%	2,269	2,773	503	22.2%	12,447	18,890	6,443	51.8%
		民間	3,317	5,198	1,881	56.7%	3,728	3,724	▲ 4	▲ 0.1%	19,535	18,332	▲ 1,203	▲ 6.2%
	計		5,169	8,715	3,546	68.6%	5,998	6,498	499	8.3%	31,983	37,223	5,239	16.4%
	官庁	官庁	1,852	3,517	1,665	89.9%	2,269	3,014	745	32.8%	12,476	20,281	7,805	62.6%
		民間	8,163	19,673	11,510	141.0%	19,692	19,329	▲ 363	▲ 1.8%	75,019	118,742	43,723	58.3%
	合計		10,015	23,191	13,175	131.6%	21,962	22,344	381	1.7%	87,495	139,024	51,528	58.9%
	不動産事業等						2,769	4,291	1,521	54.9%				
合計						24,732	26,635	1,903	7.7%					

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画のもととなる前提、予測を含んで記載しており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因によって、大きく異なる結果となる可能性があります。本資料には監査を受けていない概算値を含むため、数値が変更になる可能性があります。